

業務コンサルティングサービス





PROFILE

橋本 望

HASHIMOTO NOZOMI

デジタルマーケティング・EC・コンタクトセンター統括 リテールコマース総括 ECX本部 ECX事業推進統括部



経歴サマリ

- ◆ <u>商業印刷デザイン会社</u> ~ ITベンチャー起業(1996年-2006年)
 - ▶ 商業印刷デザイン会社にて、ITベンチャー関連会社の立上げを取締役として参画。
 - 検索エンジンの開発や各種ポータルサイトの構築など、CtoC事業を立ち上げ。
- ◆ 健康食品会社(2006年-2008年)
 - 通販事業部門の事業部長として、通販事業拡大に貢献。
 - マーケティング部門立上げと同時にECサイトも立上げ、CRM運用基盤を構築。
- ◆ トランスコスモス株式会社(2008年-現在)
 - ▶ WEBインテグレーション部門にて、航空会社の統括PMの他、多数の案件のPMとして従事。
 - ▶ 2014年から現在のEC事業部門に異動。
 - ECワンストップサービスの基盤構築に参画。
 - クライアント様のEC事業構築をPM、コンサルタントとして従事。
 - ▶ ECプロジェクト実績:総合通販会社、ECモール運用事業社、SNS運用事業社、百貨店、新聞社、製薬会社、 食品メーカー、家電メーカー等 多種多様なEC事業を経験。



- 1. EC市場と業務環境の変化
- 2. 業務コンサルティングについて
- 3. 事例
 - 1. 家電メーカー様
 - 2. ECモール運用事業社様

EC市場展望



Source: 富士経済

■通販形態別市場

	2020年見込	2019年比	2021年予測	2019年比
全体	12兆4,196億円	106.6%	13兆955億円	112.3%
EC	10兆7,144億円	108.3%	11兆4,190億円	115.4%
カタログ通販	1兆589億円	95.2%	1兆276億円	92.4%
テレビ通販	5,594億円	100.5%	5,659億円	101.7%

- ・コロナ影響で、EC進出が増加
- マルチチャネルの増加
- ・実店舗とEC店舗間での相互送客が加速

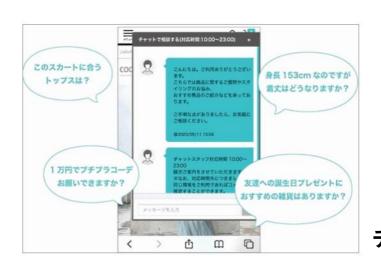
業務環境の変化





ライブコマース





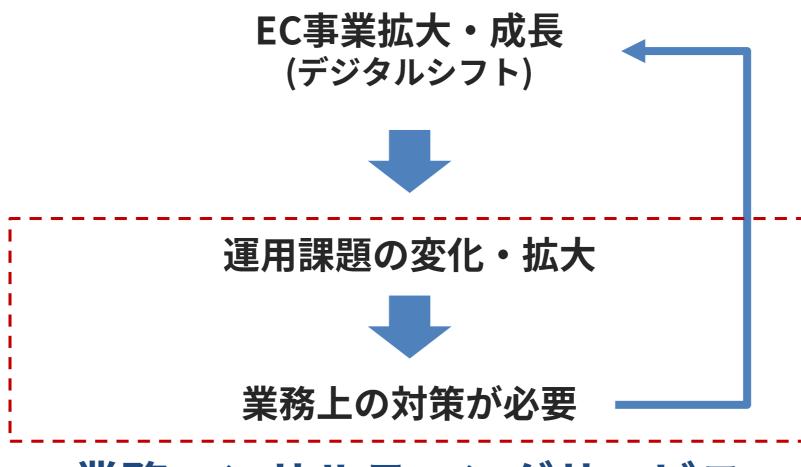


ZOOMオンライン接客

チャット接客



EC市場と業務環境の変化



業務コンサルティングサービス

EC事業運用における課題



潜在的

- ✓ 本来やるべき業務に集中できない(戦略・販促に専念できない)
- ✓ 何を改善すべきかわかない(売上低迷、コスト過多)
- ✓ うまく運用が回らない

顕在的

- ✓ 手作業によるミスが多い・減らない(マニュアルがない)
- ✓ 誰かに任せたい(何をアウトソースすべきか分からない)
- ✓ システムが機能不足、処理が限界
- ✓ 委託先のサービス品質に不満がある



業務コンサルティングについて



業務コンサルティングのSTEP



業務コンサルティングの進行



・調査準備:調査項目、調査方法、登場人物と役割

·状況把握 : 課題、実施目的、期待値

現状調査

・データ調査 : 売上、効率、KPI、品質関連スコア等の実績評価に関連する数値分析

ポイント

・対面調査: ヒアリング、ディスカッション、ブレスト等

必ず現場担当者へ確認。スキル・経験度合い、業務意識の確認

・現場調査: 作業・行動モニタリング、工数計測、環境調査等

可視化課題抽出

対策・計画立案

・可視化・検証 : 収集した情報をもとに業務一覧、業務フロー作成事実検証

・考察 : 分析結果から、課題の抽出・整理

・対策 : 課題の対策案検討、実施プランの立案

・報告書作成 : 社内レビュー会議にて確認・ディスカッション

・報告書・計画作成 : 報告書としてまとめ・クライアント様へ提出・ご説明、ディスカッション

業務コンサルティングの心得



調査時

- ・裏を取る
- ・範囲・深度を広く見る
- 物わかりのいい人にならない
- ・自分で確認する

分析・考察時

- 何が問題か、なぜそれが問題か
- ・なぜそれができていないか
- ・気持ちを読む
- ・問題解決の先にあるものを読む



事例

- 1. 家電メーカー様
- 2. ECモール運用事業社様



事例

1. 家電メーカー様

事例1 家電メーカー様



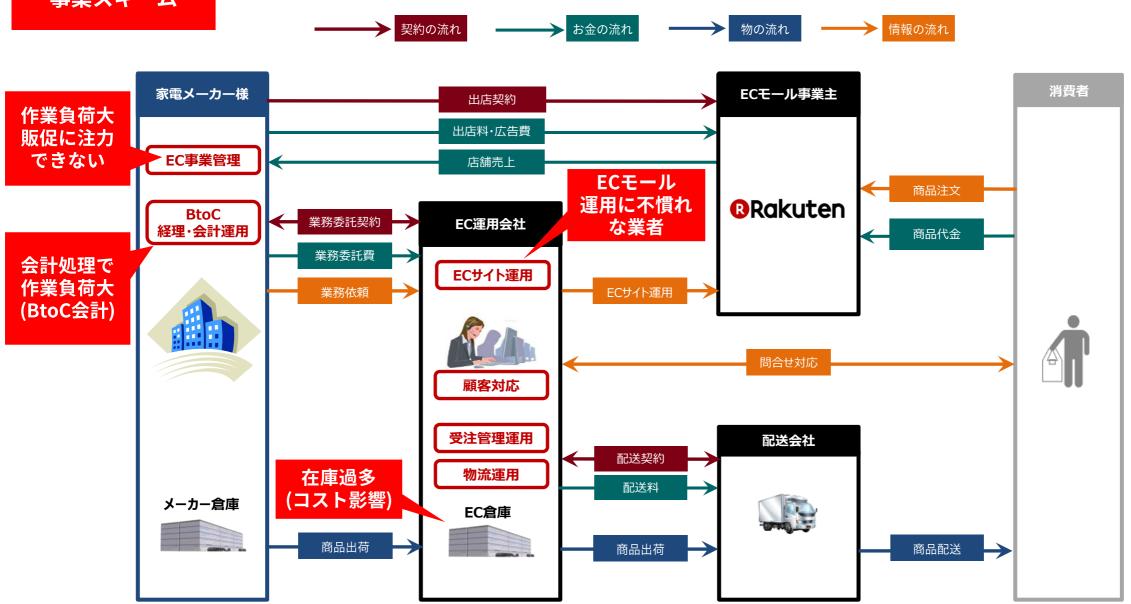
課題

- ・EC運用に、多くの作業負荷が掛かっている
- ・販促に注力できず、売上が低迷している

当初の 事業スキーム

事例1 家電メーカー様

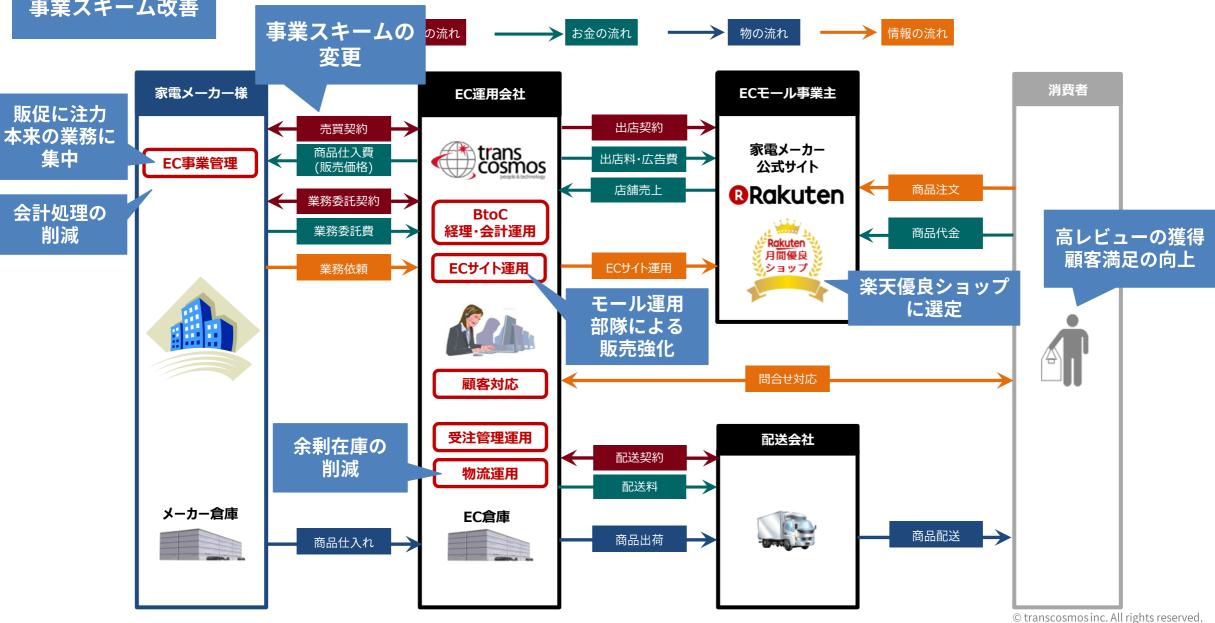






コンサル後の 事業スキーム改善

事例1 家電メーカー様



事例1 家電メーカー様



販売戦略と在庫管理に課題があり、余剰在庫(5ヶ月分以上の在庫)が多く発生していた

在庫ランク

①在庫管理方法を商品ごとにランク分け

②各種データ活用。商品ごとに分析

A在庫数が2ヶ月分以内のものB在庫数が3ヶ月分以内のものC在庫数が5ヶ月分以内のものD在庫数が5ヶ月分を超えるもの特在庫数が5ヶ月分を超えるが、ケース入数に満たないもの

在庫分類

受注実績

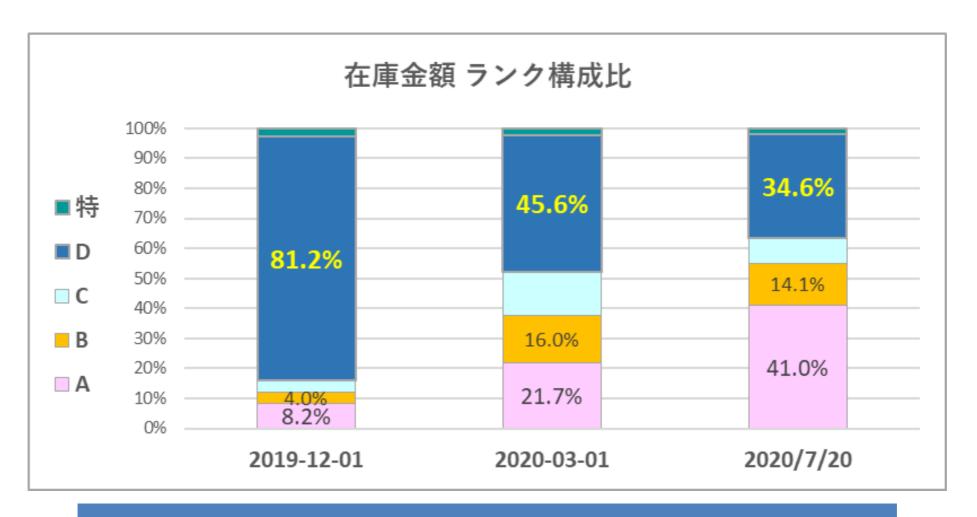
在庫日数 在庫ランク

在庫 回転率

受注予測自動算出する仕組みを構築



事例1 家電メーカー様



余剰在庫の削減と共に、在庫切れ防止も実現

コンサル後の 事業スキーム改善

事例1 家電メーカー様







事例

2. ECモール運用事業社様



₩EC-X

事例2 ECモール運用事業社様

課題

- ・事業拡大に伴い、人手不足になっている
- ・業務の一部をアウトソーシングしたい
- 何をアウトソースすべきか判断できない



①アウトソーシングの意義

現状

- ◆本来の役割ではない業務の負荷が大きい
- ◆売上、ショップ数が伸びており、今後も 伸ばしたい

アウトソース メリット

- ◆負荷がかかっている業務を巻き取れる
- ◆全体リソースが増加するので、販促・ ショップ増加への活動に充てられる

②アウトソーシング業務範囲

判断 ポイント

- ✓ アウトソース可能な業務
- ✓ アウトソースすべき業務
- ✓ 引き継げる業務のボリューム

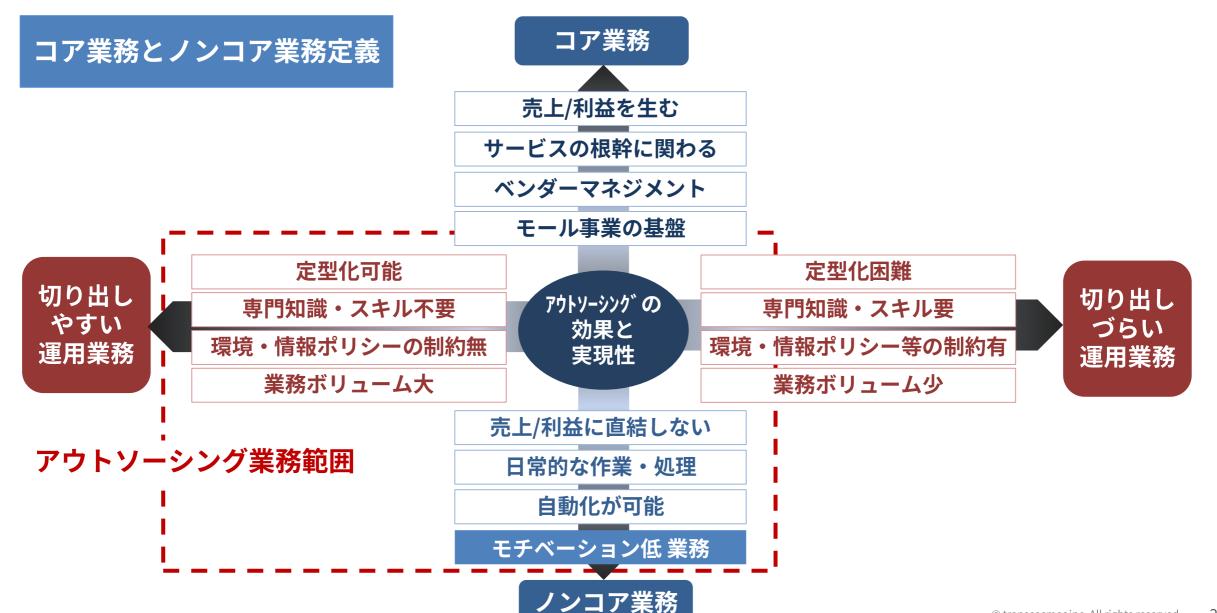
コア業務・ノンコア業務選定

③事業のあるべき姿を考慮

検討課題

◆ あるべき姿を定義し、事業全体の課題と対策







アウトソーシング可能業務 最大 1,395時間 / 約33%

出店店舗サポート 物流・CS関連

> 事業管理 販促企画

チーム	月間稼働時間	合計		
		時間数	人月	割合
Aチーム	1,850	1,062.5	7.1	57%
Bチーム	510	238.5	1.6	47%
Cチーム	340	46.5	0.3	14%
Dチーム	850	47.5	0.3	6%
Eチーム	330	0	0	0%
Fチーム	370	0	0	0%
合計	4,250	1,395	9.3	33%



③事業のあるべき姿を考慮

検討課題

◆ あるべき姿を定義し、事業全体の課題と対策

1事業全体課題と考察2人的リソース課題と対策3運用課題と対策4システム課題と対策



No.	課題 (※一部抜粋)	
2	モール事業で求められるスキルの継続的な向上が 困難	
2	モール事業で必要な役割・スキルセットと、会社 の主事業で求められる役割・スキルセットが、 アンマッチ	
3	運用に本来不要と思われる業務工数が多い	
3	運用が複雑でミスが起きやすい為、チェックや フォローの工数が多く発生	

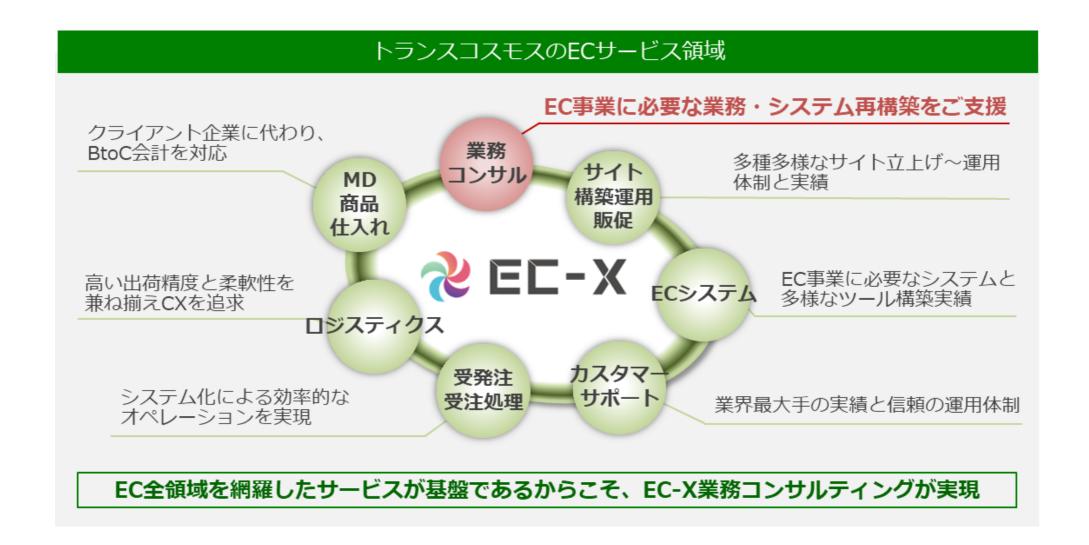


- >モール事業の運営に必要なスキルセット
- >モール事業独自の人材戦略と評価制度

- ▶業務フローの見直しと、マニュアル作成
- ▶システム化と機能拡充箇所の選定。改修による期待効果の提示(システム課題へ)



業務コンサルティングサービス





ご清聴ありがとうございました